

医学部

Faculty of Medicine

良き医療人材の育成と
生命科学分野の研究拠点を目指して

医学部は、昭和49年に設立された宮崎医科大学を前身とし、平成13年に看護学科を併設しました。
平成15年10月に宮崎大学と統合し、宮崎大学医学部となりました。



医学部長

片岡寛章

医学科と看護学科は、本学のスローガン「世界を視野に地域から始めよう」の下、地域社会はもとより広く世界に貢献する医療人を輩出することを目指しています。両学科共に1年次から始まる専門基礎科目を経て、学内外での体験学習を行い、医療人としての自覚を早期に育成します。医学科では4年次、看護学科では2年次から医療現場での臨床実習が始まります。臨床実習は本学部附属病院のみならず、各地の連携研修医療施設においても行われ、最前線で活躍する先輩医師や看護師から直接指導を受けます。また、ドクターヘリの運航や救命救急センターの診療を通して、県下医療機関と連携した救命救急医療体制を構築してきました。研究活動では「生理活性ペプチド」や「成人T細胞性白血病」の研究をはじめ、数多くの世界最高水準の成果を生み出しています。このような環境の下で医学・看護学を学び、地域を支える意欲、また世界に貢献する意欲に燃えるみなさんの入学を歓迎します。

■医学部 各学科

医学科

地域における医学・医療の中心的な役割を果たす宮崎の地域医療に貢献し、国際的にも活躍できる医師・医学研究者を育成。

P21

看護学科

人間と生命の尊さがわかる専門職を育成
看護による健康への支援を通して保健医療に貢献できる看護師、保健師を育成。

P23



■ 医学部の使命

宮崎大学医学部は、「地域における医学・医療の中心的な役割を果たすと同時に、進歩した医学・看護学を修得せしめ、人命尊重を第一義とし、医の倫理に徹した人格高潔な医師、医学研究者、看護職者及び看護学研究者を育成し、国内外の医学及び看護学の水準向上と社会福祉に貢献すること」を使命としています。

■ 医学部の教育理念・目標

教育・研究・診療を通して、地域社会や人類全体の健康と福祉の増進に寄与し、高潔かつ温かな人間性を有し、最新の幅広い知識と確かな技術を持ち常に向上のための努力を惜みず、地域の問題を理解すると共に豊かな国際性を有する医師、看護師、研究者、教育者を育成します。

■ 卒業認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)

医学部

宮崎大学医学部では、以下の素養を身に付けるとともに、所定の期間在籍し、基準となる単位を修得した学生に、卒業を認定し、学位(学士号)を授与します。

1. 社会に貢献できる医療人として、豊かな人間性を持ち、謙虚な心で、人命尊重、的確な判断力、実行力を備え、義務と権利を適正に行っている。
2. 自ら学修計画を立て、主体的に学び、自己研鑽し、最新の医学および看護学の知識を生涯にわたって学修することができる。
3. 教育によって身に付けた医学および看護学の知識や新たな知見を複眼的、論理的に分析するとともに、課題を認識し医療の進歩に貢献できる。
4. 相手の伝えたいことを的確に理解し、自己を表現でき、他職種と連携してチーム医療を実践できる。
5. 医学および看護学を学ぶ機会が得られたことへの感謝の心とプロフェッショナルとしての自覚を持ち、教育で得た知識、技能によって地域医療に貢献できるとともに、グローバルにも活躍できる。

■ 施設紹介



臨床技術トレーニングセンター



フロンティア科学実験総合センター



総合教育研究棟



総合周産期母子医療センター



地域における医学・医療の中心的な役割を果たすと同時に国際的にも幅広く活躍できる人命尊重を第一とした医師、医学研究者を育成します。

臨床実習しながら座学でも学べるから、頭に入りやすい。

医学科 5年

山田 愛加理 Akari Yamada

宮崎県 宮崎第一高校出身

中学生の時に家族が入院することがあり、医療に関心を持つようになりました。自分の地元の大学で、一番身近だったのが本学を志望した理由です。自然豊かな環境で学べて、アウトドアサークルが盛んなのが独特かもしれません。自宅が青島にあり、本学サーフィン部が練習しているのを見ますが、自然の中で学べる豊かさを実感できます。

本学科は、実習が早くから始まるのがいいなと感じています。臨床実習しながら、座学で学べるので頭に入りやすいです。また留学生が多いので、多くの外国人の友達が作れるのも魅力です。6年生では、海外の実習も希望でき、地方にいながら海外とも交流できるチャンスもあります。

今は総合診療に興味を持っています。患者さんの全身を看られる医師になりたいです。

Admission Policy 入学者受入方針 - 求める学生像 -

アドミッション・ポリシー

医学科では、臨床医、医学研究者、あるいは医学教育者として宮崎の地域医療に貢献し国際的にも活躍できる、優れた人材の育成を目標としています。

医学科では、自ら課題を見つけ解決しようとする探求心と意欲、行動力(主体性・学問への関心)を有し、医学と医療を学ぶために必要な幅広い基礎学力・応用能力(知識・技能)と他者と協調・共感できる豊かな人間性(協調性・思考力・表現力)を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる人材を求めています。

地域医療に貢献し、世界に羽ばたける医療人を目指して。

医学科 発達泌尿生殖医学講座産婦人科学分野 教授 **児玉由紀**
Yuki Kodama

日進月歩で発展している医学、医療の現場で、地域に暮らしている人々の病気を治療し健康な生活を手助けするのは医師の重要な仕事です。

産婦人科では、妊産婦のほか、子宮筋腫、子宮がんや卵巣がんなどの婦人科疾患、また生まれたばかりの小さな赤ちゃんなど、各分野の専門医を配して診療にあたっています。県内、時には隣県からの救急搬送や紹介患者さんを受入れることが多い毎日です。質の高い医療を提供するためには、看護師や助産師、薬剤師や理学療法士などコメディカルとも連携し、患者さんの治療やケアにあたるチーム医療は大切です。また海外との交流を積極的に行い、世界に向けて発信する研究にも取り組んでいます。地域医療を支える使命感と熱い志を持つ皆さんのご入学を心待ちにし、知識や技術だけでなく、十分なコミュニケーション能力を身につけ、高い倫理観を養い、将来同じ医師として働く日が来ることを心から期待しています。



Message

KOKOCHU
ココに
注目!

医師として働き続けるための『キャリアデザインサポート』体制

宮崎大学医学部では、医学科の卒業生及び学生が個人の資質を最大限に発揮しながら、医師・研究者として社会貢献を果たすキャリア形成を支援しています。大学ホームページ上では、専用サイト「キャリアデザインサポート」を運用し、卒業臨床研修プログラムや専門研修プログラム、医学研究及び大学院進学、海外留学等に

関する情報提供をはじめ、登録された卒業生・学生の問い合わせにも対応しています。

大学や附属病院の情報提供はもちろん、本学医学部で学んだ皆さんを卒業後も大学教員・職員が一丸となって応援していきます。

 Career Design Support

宮崎大学医学部卒業生を支援するサイトです

■卒業後の主な進路

臨床研修医(本学附属病院、他の国公立大学附属病院、他の公立・民間等病院)

■取得可能な免許、資格

●医師(国家試験受験資格)

看護学科

School of Nursing

社会と地域の保健医療に貢献できる人材を育成します。何よりも豊かな人間性を大切にし、人々の健康な生活への援助を実践するために附属病院の最先端医療設備を活用した高度な看護学を学びます。



女性が多いなかでも、教授陣の心配りで不安なく学べる。

看護学科 4年

中尾 剣三郎 Kenzaburo Nakao

大分県 中津北高校出身

認知症の祖母が在宅介護を受けていましたが、介護士さんが来てても何もできない自分が歯がゆくて、看護師を目指せば介護と医療どちらにも携われると思いました。本学科は、現場の経験もある頼りになる教授陣が揃っているところが魅力です。日々の学習のなかで分からないところも質問しやすく、進路や就職のことまで相談できます。特に先生方の存在の有難さを感じたのは実習中です。自身の看護のあり方に疑問を感じて落ち込んだのですが、そのときの私が普段と違うことに、先生がいち早く気づいてフォローしていただきました。本当に一人ひとりに目配りをしてくれることを実感できました。本学の附属病院で働くことを目指していますが、実習を通して小児医療にも興味を持ち始めています。技術を磨き、いろいろなことに早く気づける看護師を目指しています。

Admission Policy 入学者受入方針 - 求める学生像 -

アドミッション・ポリシー

看護学科では、看護による健康への支援を通して、社会と地域の保健医療に貢献できる人材の育成を目標としています。

看護学科では看護職者になろうという目的意識と看護学を学ぶために必要な基礎学力(知識・技能)を有し、生活している人々の身体的・精神的健康への関心(学問への関心)、自ら課題を見つけ解決しようとする意欲と行動力(主体性・多様性)、他者への共感と円滑なコミュニケーション能力(協調性・思考力・表現力)を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる学習意欲の高い人材を求めています。

“つなぐ”力を育みます!

看護学科 母性(助産専攻)看護学領域 教授 山崎 圭子
Keiko Yamazaki

日本は、世界で最も安全に出産ができる国となつてから久しく、誰もが「無事に出産するのが当たり前」と考えるようになりました。しかし、生殖医療や周産期医療がどんなに高度化しても、ハイリスク妊産婦や産後うつ病の増加などにより、妊娠・出産・育児のすばらしさを享受することが困難な現状があることも事実です。この様な時代だからこそ、保健・医療・福祉、地域社会などのあらゆる場において、妊産婦さんとその家族に切れ目のないケアを提供できる看護職が求められています。

宮崎大学は、医学部附属病院に総合周産期母子医療センターを有しており、宮崎県の周産期医療の中心を担っています。この恵まれた環境で、新しい生命を迎える家族の健康を育み、次世代につなぐケアについて一緒に考えませんか。皆さんの入学をお待ちしています。



KOKOCHU
ココに
注目!

看護学の発展のために!

看護学の一層の発展のため、宮崎大学では医学部看護学科を母体とし、単一の研究科に特化した大学院看護学研究科を開設(平成26年)しました。研究科の構成は実践看護者育成コースと研究者育成コースから成り立っています。

実践看護者育成コースは、がん看護領域と実践助産学領域(免許取得課程)および実務経験のある助産師を対象とした実践助産学開発領域から構成されています。したがって従来看護学科で行っていた助産師養成は発展的に解消し、実践助産学領域に組み込まれています。一方、がん看護領域では、がん看護専門看護師の養成課程を有しており、将来の資格獲得が可能となります。

研究者育成コースでは、研究者の育成と共に、看護の多様化するニーズに応える形の研究を続けていきます。こうした大学院で

の研究成果が、今後の看護学の発展に寄与することは言うまでもありません。看護学が単独で大学院を構成することは国立大学では大変珍しく、その成果が注目されています。



卒業後の主な進路

本学部附属病院、他の国公立大学附属病院、他の公立・民間等病院、宮崎県職員(保健師)、他の自治体職員(保健師) 他

取得可能な免許、資格

- 看護師(国家試験受験資格)
- 保健師(国家試験受験資格)^{※1}

※1 選択制、2年次後学期に履修生の選考試験を行う。保健師免許取得後、教育職員免許法の所要単位を修得し、申請により養護教諭二種免許を取得することができます。